

2回目の心理学特別授業が行われました

10月26日（火）に茨城大学大学院教授 正保春彦先生、筑波大学大学院教授 庄司一子先生による心理学の特別授業が行われました。今回のグループワークは5月に続いて2回目の授業になります。コロナ感染拡大に伴うオンライン授業などもあり、延期になっていた授業でしたがようやく行うことができました。

授業は、1年次の生徒を対象に行われました。授業ではゲーム形式のグループワークに取り組みました。

庄司先生の授業では、各人に与えられた動物たちの居住地の情報を手掛かりにグループ内で知恵を出し合いながら住む部屋を当てるゲームを行いました。ゲームを通じて、話すこと、聞くこと、協働的な思考などコミュニケーションの基本となることを学んでいきました。

正保先生の授業では、聖徳太子ゲームを手始めに、おもちゃ当て、職業当てのジェスチャーゲームを行い、想像力を働かせながら表現することの難しさ、重要性を学びました。

生徒たちは、グループワークを通じて、聞くこと、話すこと、想像すること、表現することなどについていろいろと考えたようです。

